

鳩に関する「ハッとする」情報をお届けする

鳩対策白書 2026

はじめに

2026年8月10日、創刊から5周年となる「鳩対策白書2026」を発行します。

「鳩対策白書2026」のテーマは「鳩の分布」です。特集では、大阪の中心にある大阪城に集う鳩たちを現地調査してまいりました。どのようなエリアにどのような鳩が生息しているのか、また、他の鳥たちとどのように共存しているのか、レポートします。

また、全国での鳩の分布についてのアンケート調査も実施いたしました。アンケート結果を「鳩対策白書2026」にまとめて掲載いたします。

私たちは鳩対策をご提案する際、被害状況を確認するだけでなく、被害場所の周辺環境と鳩の生態や行動パターンも考察しています。鳩の行動をみていると意外にわたしたち人間の行動と共通しているな、と感じるところがあります。

鳩対策白書を通して、鳩被害にあわれている方のお役に立ちたい、また少しでも多くの方に鳩のことを知っていただき、社会問題となりつつある鳩被害の解決に貢献したいと思っています。

本書が鳩対策の参考になりましたら幸いです。



日本鳩対策センター
JAPAN PIGEON CONTROL CENTER

特集1 大阪城 鳥の陣 ～大阪城公園に集うハトを調査してみたら～

大阪城公園は都会のオアシスとしてハトが集う場所となっています。そこで鳩対策センター鳩調査チームは、大阪城公園を訪問。どんな場所にどんな色のハトが多いのか、他の鳥たちとどのように共存しているのか、大阪城公園の主に東側を見てきました。

調査日：2026年5月某日 天気：曇り



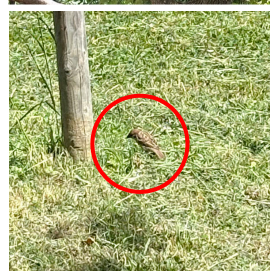
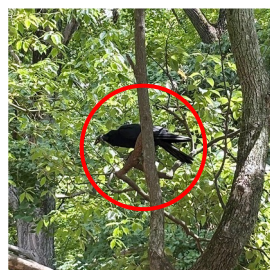
①森ノ宮駅入口付近の広場

ドバトがたくさんいました。この場所だけで灰色53羽、白色2羽が居座っていました。



②噴水がある広場付近

スズメとカラスがいました。基本的に鳩とカラスは共生しませんが、スズメはハトほどカラスを避けているようには見受けられませんでした。



③市民の森の中

シジュウカラがいました。木の上の方にいたので姿を撮影することはできませんでした。
ツイ・ツイ・ツイ と鳴いているシジュウカラが多かったですが、一部では縄張りを主張して鳴くツイビジー、ツイビジーという声も聞くことができました。



(シジュウカライメージ)

⑤大阪城ホール横の木の影

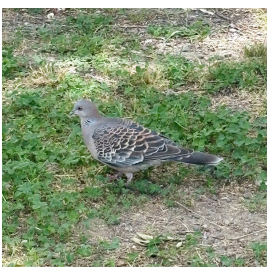
この周辺に近づく、突然カラスの鳴き声が響き始めました。あたりを見渡してみると、木の上にカラスの巣を発見！
普段なかなか直接見る機会がないので、嬉しくなっていたのですが、襲われこそしなかったものの、低空飛行で私たちの頭上を激しく鳴きながら威嚇するように飛んできました。

その後もカラスは仲間を呼ぶかのように鳴き続けていました。本気の恐怖を感じた私たちは、早足でその場を退散しました(笑)。というわけで、命の危険を感じたため写真は撮れませんでした…。



⑦梅林内 人通りの少ない場所

キジバトを発見しました。
キジバトは木の上ではなく、地面で優雅に過ごしていました。
人がいるところではなく、どちらかというと人が少ない木の多い場所で静かに過ごしていました。



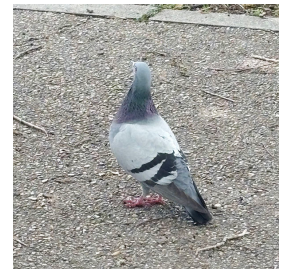
④野球場横ベンチ上の木

ドバトは木の上で休憩しており、下にはベンチがありました。休憩しながら人の食べこぼしを待っていると思われます。
ドバトは人がいる場所付近で休憩するというところを、実際に確認することができました。



⑥梅林内ベンチ

梅林内のベンチ周辺にもドバトがいました。ここも普段人がたくさん集まっている場所です。

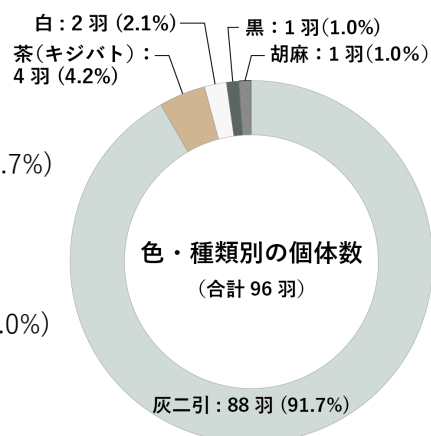


梅林の奥にある雑木林はカラスのねぐらになっています。
雑木林に近づく、カラスの鳴き声が一気に増えました。こちらも少し怖かったです。



今回大阪城公園で確認した鳩の種類と色の内訳

灰二引（翼全体は灰色で翼に二本の黒い線のあるもの）：88羽（91.7%）
 茶（キジバト）：4羽（4.2%）
 白（全体が灰色よりも白っぽいもの）：2羽（2.1%）
 黒（全体が灰色よりも黒っぽいもの）：1羽（1.0%）
 胡麻（翼の灰色や黒い部分に斑（ぶち）が含まれるもの）：1羽（1.0%）



大阪城公園に行って感じた気づき

- ・ドバトがいるのは必ず人がよくいるベンチの周辺・ベンチの上の木などでした。ドバトはやっぱり人の多いところに居座っていることがわかりました。
- ・ドバトとキジバトは同じ場所にいないことがわかりました。人の近くにいるドバトと違い、キジバトは人の気配がなく、木が多い静かなところにいました。
- ・カラスがいるところにはハトはいませんでした。

大阪城公園ということで大坂夏の陣に例えてみました

大阪城公園 鳥の陣

ドバト：人が多いベンチ周辺、木の上にいる。
 武将例：豊臣方の城兵・浪人衆
 大阪城周辺、人の集まる“城下”に陣取る主力部隊のような存在。

カラス：カラスがいる場所にハトはいない。
 武将例：徳川家康
 その場にいるだけでハトが距離を取る、圧倒的な存在感を持つ勢力。



キジバト：ドバトと同じ場所にいない。人の少ない木立にいる。
 武将例：真田信之
 同じ“ハト”の仲間だが、ドバトとは別の場所・別の陣にいる点が、真田兄弟の別陣営と重なる。

スズメ：カラスがいる場所にもいる。
 武将例：水野勝成
 大きな勢力のそばでも動ける、身軽で場慣れた存在。

特集2 「あなたの周りにはいる鳩は何色？」 鳩の分布について調査してみました

鳩対策センターでは、鳩の日を前に「鳩の分布」をテーマにアンケート調査を実施しました。

調査概要

調査名：鳩についての実態調査

調査日程：2026年6月24日～7月1日

調査手法：インターネットによるアンケート

調査対象：20代以上の男女554人

(男性274人女性280人／20代20.2%

30代20.2% 40代20.2% 50代19.1%

60代以上20.2%)

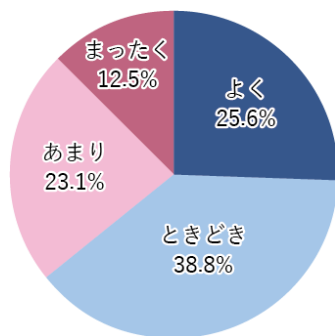
有効回答数：554人

調査トピックス

「『東京の鳩は黒い』は本当？」—そんな記事を見かけ、私たち自身で実態を調査してみたい！ということで、今回約550名の方にアンケート調査を実施。

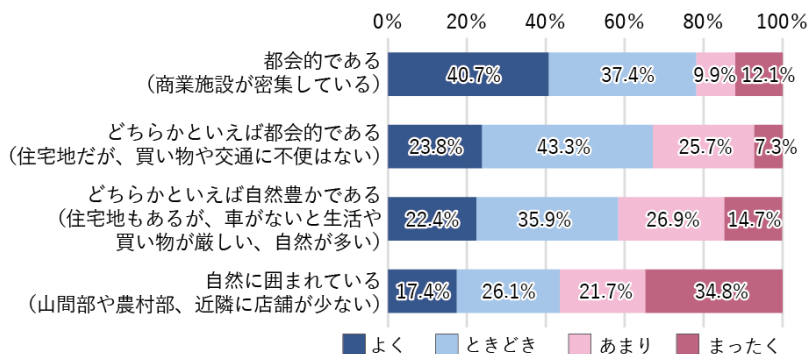
都道府県だけでなく、居住エリアの環境についても伺い、鳩を見かける頻度やどのような鳩を見かけるのかを調査。さらには、鳩対策についてや鳩とのエピソードまで情報を寄せていただきました。

Q1 日頃鳩はよく見かけますか？



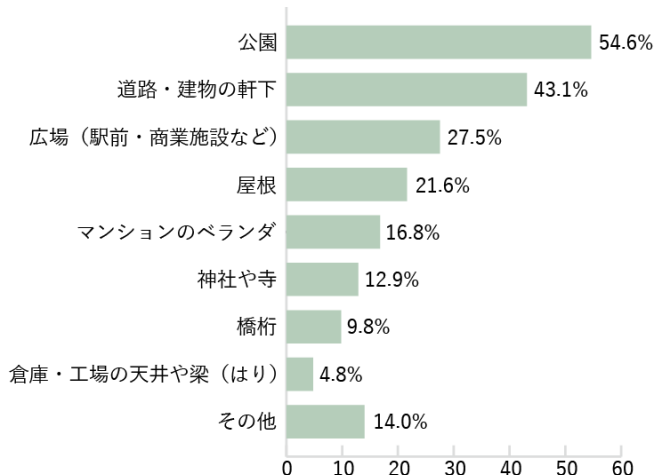
よく見かける・ときどき見かける人を合わせると65%という結果になりました。多くの方が日頃から鳩を身近に見ていることがわかります。

また、周辺環境との相関関係を見てみると、次のような結果になりました。



日頃鳩をよく見かける・ときどき見かける人の割合は、都会的なエリアでは78.1%、どちらかという都会的なエリアでは、67.1%という結果に。自然豊かなエリアではそれぞれ58.3%、43.5%という結果になりました。鳩の生息は都会に多く見られることがわかります。

Q2 どこで鳩を見かけますか？

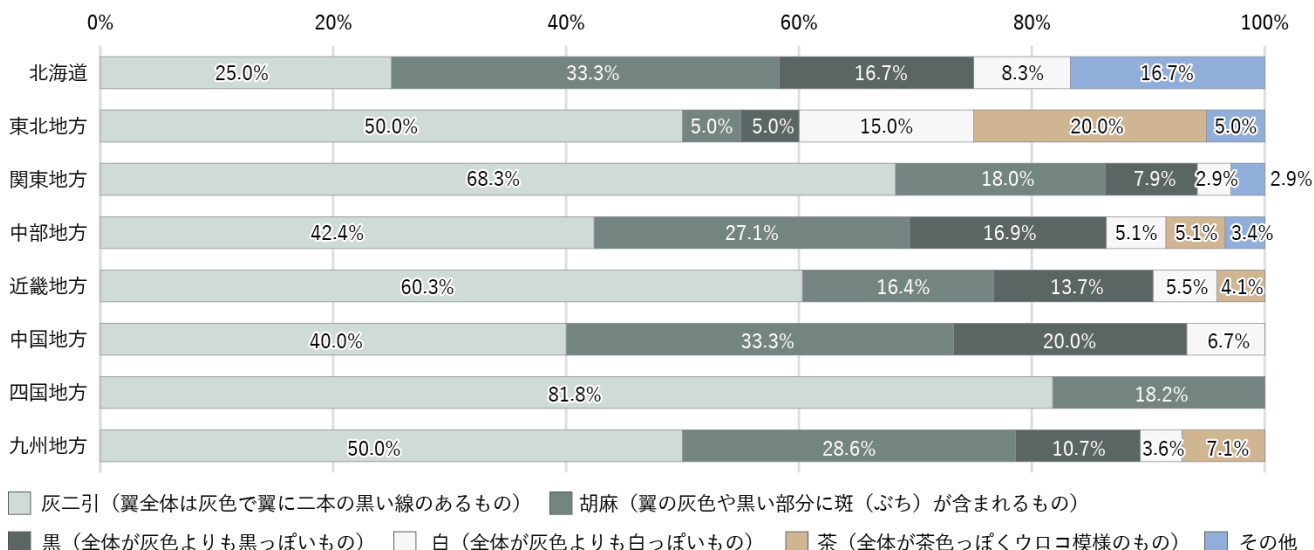


人が多く集まる場所は、鳩にとって餌を得やすい環境になります。そのため、今回の調査では公園や広場など、人の利用が多い場所で鳩が多く確認される結果となりました。

一方で、鳩が休んだり巣を作ったりする「ねぐら」としては、雨風をしのげて、外敵から身を守りやすい場所が好まれます。特に、三方向が囲まれているような場所は安心しやすく、建物の軒下はその条件に当てはまりやすい場所です。

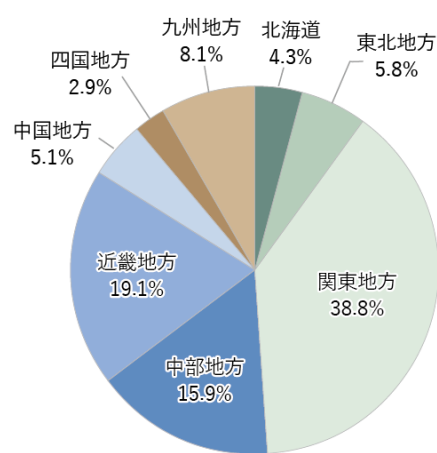
そのため、ねぐらや営巣場所としては、圧倒的に軒下が多い結果となりました。

Q3 何色の鳩を最も見かけますか。6種類の中から1番近いものをお選びください。



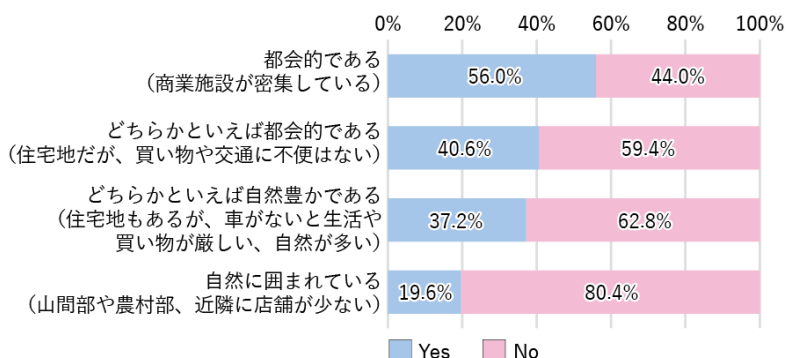
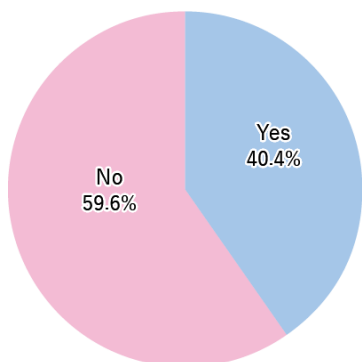
北海道以外では、灰二引が多かったのに対し、北海道では胡麻が1番多く、中国地方や中部地方、九州地方でも約30%が胡麻色でした。また、四国地方では灰二引が81.8%、胡麻が18.2%で黒・白・茶などその他の色は見られないという結果になりました。また、茶色 (キジバト) は、東北地方で20%見られており、他のエリアでは0%から一けた台となりました。キジバトは東北地方に分布が多いのかもしれません。

また、四国地方は海を越える訓練に適していることで、レース鳩が盛んなエリアです。レース鳩交配の結果、野外に定着した灰色のドバトが増えた可能性が考えられます。都市圏以外のエリアは、回答者母数が少ないため推測の域を超えませんが、今後も各地のセンターで、注視していきたいと考えています。



※地域別回答者の割合

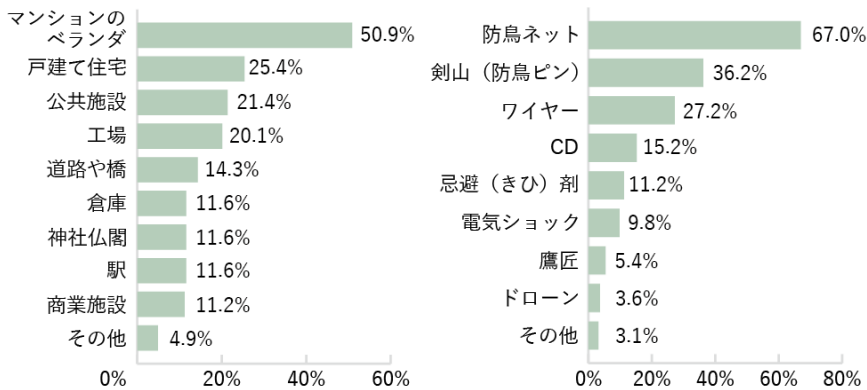
Q4 鳩対策 (防鳥ネットやワイヤーなど) がされているところを見たことはありますか。



実は多くの建物で、鳩対策は施されていますが、半数以上の方が鳩対策を見たことがない、という結果から、景観を損なわないような鳩対策がされていることがわかります。

また、周辺環境別に見てみると、都会に住んでいる方のほうが鳩対策が身近にあることがわかりました。改めて鳩が人間の生活の中でともに生きていることを感じます。

Q5どこで鳩対策を見かけたことがありますか。



半数の方がマンションのベランダでの対策を見かけられています。対策方法も、防鳥ネットが67.0%とダントツに多く、ついで剣山（防鳥ピン）36.2%という結果になりました。まだまだめずらしい鷹匠やドローンでの対策を見かけた方もおられました。

#鳩のエピソード、教えてください

最後に「鳩」にまつわる思い出・エピソードも聞いてみました。

ベランダへの巣作りやフン被害の回答が圧倒的に多く、次いで餌やりの思い出や公園・駅での遭遇など、鳩は私たちの身近な存在であることがうかがえました。回答をご紹介します。

ベランダ・家への巣作り（最多）

- ・植木鉢に卵を産まれ、2羽のヒナが巣立つまで見守ったが、フンの被害は大変だった。
- ・毎年同じつがいが出てきて巣を作る。
- ・過去にベランダにある天吊りの室外機の上に巣を作られたことがある。

フン被害に困った

- ・小学生の頃、写生中に髪へフンが落ち、先生に拭いてもらった。
- ・鳩のフンでコートがダメになった。（変色した）

餌やり・鳩とのふれあい

- ・野生の鳩が手に乗るほど懐いた。
- ・善光寺へ行くたびに家族で餌をあげていた。
- ・子どもが幼い頃、鳩と遊んでいた。

公園・駅・街中で見かけた鳩

- ・京都駅で大量の鳩を見て驚いた。
- ・浅草寺では椅子に座るとたくさん寄ってきて、ほのぼのした。
- ・駅前でつがいが求愛していてかわかった。

鳩に襲われた・追いかけられた

- ・ボン菓子を開けた瞬間、一瞬で鳩に食べ尽くされた。
- ・公園でパンをついばまれた。
- ・追いかけて回された。

保護・飼育した経験

- ・ケガをした鳩を保護した。
- ・昔10羽以上飼っていたが、ネコに全滅させられた。
- ・学校の渡り廊下で、鳩が巣を作り、卵が放置されていたので、持ち帰って温めたが孵らなかった。

家の中に入ってきた！

- ・新築のときに玄関を開けていたら吹き抜けに入り込み、出すのが大変だった。
- ・部屋に飛び込み、しばらく天井近くの棚から降りてこなかった。

全体として、「困った経験」が多い一方で、子どもの頃の餌やりや保護した思い出など、鳩との温かなエピソードも数多く寄せられました。生活に身近な鳥だからこそ、それぞれの印象深い思い出があることが伝わる結果となりました。

鳩を中心にした鳥たちとの関連図



大阪城公園で見られた鳥たちの関連図

～ドバトを中心に見た鳥たちの関係性～

エサ場での関係

人が与えるエサや、落ちている食べ物をめぐって、鳥たちの関係が生まれます。

すみか・休息場所での関係

建物の隙間や木の上など、休む場所をめぐる関係があります。

ムクドリ

群れで行動し、エサ場をすばやく占拠すること。



エサをめぐる競争することがある

スズメ

小さな体で群れ行動。地面のエサを素早くとる。



エサをめぐる競争することがある

シジュウカラ

木の上で昆虫や木の実を食べる。警戒心が強く、森の中で活動。



生息環境が異なり、直接の関わりは少ない

ドバト (カワラバト)

人の関わりが深く、公園内で最も多く見られた鳥。



捕食することがある
(ヒナ・巣など)



ハシボソガラス

非常に頭が良く、強い縄張り意識を持つ。ドバトのヒナや巣を狙うことがある。

威嚇し合うことが多く、カラスが優勢になる場面が多い。

キジバトとカラスの関係性についての調査結果はありませんでした。

キジバト (ヤマバト)

ドバトより警戒心が強く、人の近くにはあまり来ない。主に木の上や茂みで休む。

私たちは少し違うのよ
(生態や習性が異なる)

距離をとって共存することが多い

ドバトとは違うのよ。私たちは少し違うのよ。

スズメとカラスの関係

スズメが群れでカラスを追い払う「モビング行動」が見られることがある。



集団で威嚇してカラスを追い払う
(特に繁殖期に多い)



鳥たちは、それぞれの習性や環境に合わせて、公園の中でバランスをとりながら暮らしています。鳩の行動を理解することは、よりよい共存と効果的な対策につながります。



コーポレートサイトをリニューアル

2026年4月、日本鳩対策センターのホームページをリニューアルいたしました。鳥害対策を通じて、社会に貢献できるよう、お役に立てるような発信をしていきます。ぜひご覧ください。



海外向けSNS開設

海外の方向けにインスタグラムを開設いたしました。海外で鳥害対策を必要とされる方にも、英語で発信をしていきます。

アカウント名：@jpcc.global_



おわりに

日本鳩対策センターでは全国のネットワークを活かし、数多くの鳩対策に取り組んでいます。近年では予防対策の依頼が増加し、効果を上げていることから、今後はさらに予防の意義を多くの方に知っていただきたいと思っています。

鳩は多くの方にとって身近な鳥ですが、その被害に悩んでいる方、事業所の方も多く存在します。まずは8月10日ハトの日に、鳩について正しく知っていただくことで、深刻な被害を防ぐお手伝いができればと思っています。今後も鳥害でお困りの方に、有益な情報を発信してまいります。

鳩対策白書 2026

発行日／2026年8月10日（ハトの日）

発行／日本鳩対策センター

●本社

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南3-55-16

●全国ネットワーク総合本部

〒578-0983 大阪府東大阪市吉田下島14番7号

電話番号 0120-810-179

FAX番号 0800-100-0698

メールアドレス info@hatotaisaku.jp



◀ 公式サイトはこちらの二次元バーコードからご覧ください

サイトURL <https://www.hatotaisaku.jp/>



日本鳩対策センター
JAPAN PIGEON CONTROL CENTER